

MosaicだGopherだという前に、インターネットにはもっとできることがたくさんあります。「インターネットは第2の電話」といわれているのだから、電話より便利な使い道があるのです。ここでは、私



たちの生活とインターネットの関連を話題に、身の回りのことをインターネットがどこまでサポートしてくれるか、そのご利益を追求してみましょう。名づけて“LIFE WITH INTERNET”です。

LIFE WITH INTERNET

今月のテーマ 愚留芽 都垂

【我が家の海外旅行は、居ながらにして予約バッチリ！】

我が家の海外旅行は、いつも突然決まるのです。

暑さが厳しくなってきた7月初め、朝食を前にしての夫婦の会話で、14日から23日までの10日間が2人ともフリーと知ったとき、お互いの頭に浮かんだのは「海外旅行」でした。正確には7月5日の朝のことでした。香港3泊程度だと、出発2、3日前に計画するということもありましたが、さすがに10日間の旅行の計画を、出発予定日の9日前に始めるというのは、リミットぎりぎりというところでしょう。

問題は行く先。10日間だと無理して3都市、まあ2都市ぐらいが精一杯、ということで意見は一致しました。とりあえず、ミュージカル観賞と美術館や本屋めぐりをしにニューヨークへ行くことで1都市目はすぐに決定。

さて、もう1か所はリゾートでのんびりしようということになり、アリゾナ州フェニックスのそばのスコッツデールに

行くことになりました。ここは砂漠地帯に作られた一大リゾートエリアで、飲んだビールがすぐ汗になり蒸発してしまうので、またビールがほしくなるという、私たち夫婦にとってはいうことなしの場所です。さらに、そのビールがレストラン自家醸造だったりするわけです。

アメリカ人にとってはオフシーズンのため、ホテルは軒並みサマーレート（夏料金）を提示し、さらには各種のパッケージプランも出てきます。私たち夫婦のお気に入り、Hyatt Regency Scottsdale Resort というホテルですが、デラックスルームでオンシーズン285ドルの部屋が、サマーレートだと125ドルになってしまい

ます。

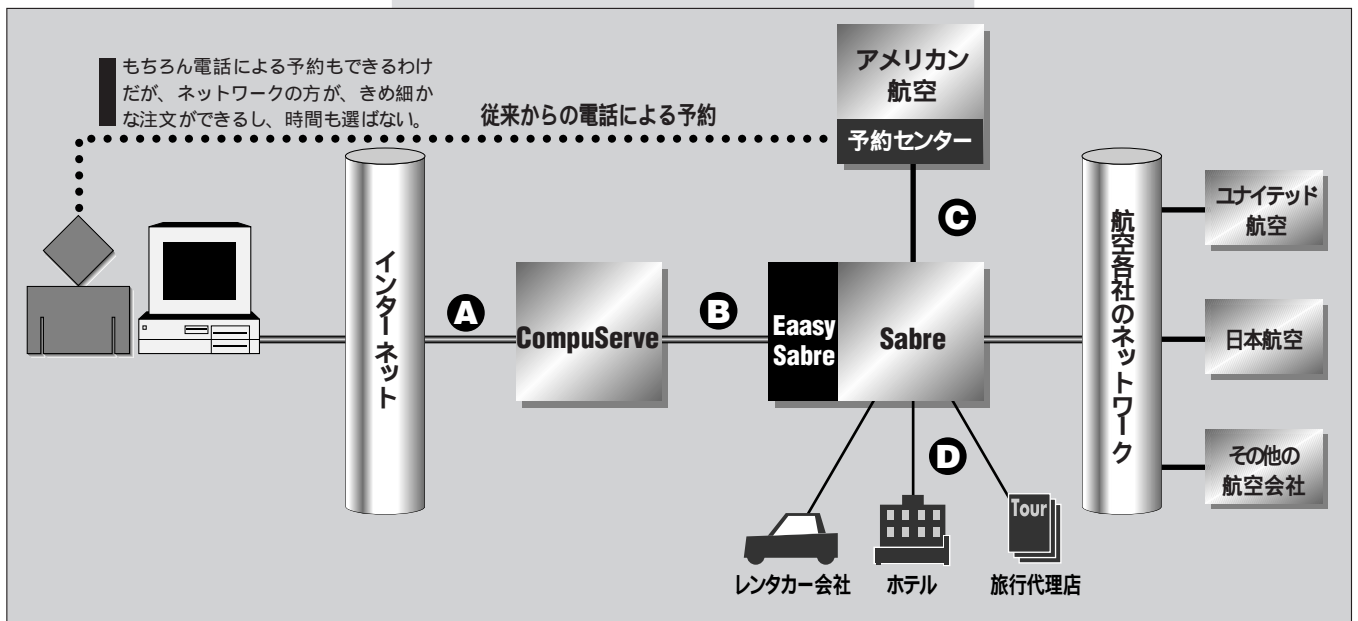
ここまで決まれば、次にすることは飛行機のスケジュールと空席情報、ホテルの混み具合とルームレート、レンタカーの予約状況などを調べることです。

我が家では、これをネットワークを使ってやってしまいます。詳しくは次ページで説明しますが、CRSと呼ばれる旅行関係の情報の検索・予約システムのうちのいくつか、一般の人向けに公開されています。それを使うわけです。

CRSというのはComputer Reservation System（コンピュータ予約システム）の略で、航空会社、ホテル会社、レンタカー会社などが独自に持っているコンピュータによる予約システムのことで、私たち旅行者が予約係に電話をすると、電話の向こうで担当者がCRSの端末をたたいているわけです。

我が家の旅行準備で利用するCRSは3つあり、旅行をしようと思立ったときはいつもこの3種類のCRSを呼び出して





予約状況を調べています。CRSによって、強い分野と弱い分野があるので、たとえば一つのホテルの予約状況を取ってみても、予約可能な最低価格の部屋が異なることがあるからです。3つのCRSからの情報を取り出した後、その情報を手にして各航空会社、ホテル会社などの日本国内の予約係に電話をするわけです。

基本的に、ホテルやレンタカーを日本国内の予約係に電話をして予約するときは、日本人向けの価格体系になる、という点に注意してください。ホテルやレンタカー会社によっては、世界で1つの予約システムではなく、アメリカ向けと日本向け（あるいはアジア向けなど）で、システムを分けていることがあります。たとえば、日本のゴールデンウィークのときのハワイのホテル料金がいい例となります。アメリカの旅行感覚からいくと、12月末から新年にかけてのハイシーズンが終り、一番のローシーズンの到来時期です。しかし、日本の旅行業界では、値段を下げなくても十分需要はあるので、ハイシーズンレートを適用しても問題ないわけです。というわけで、予約システムが世界共通（少なくともアメリカと共通）でないとすれば、アメリカでのローシーズン料金を享受できない可能性も出

てくるわけです。

CRSのなかでも、航空会社系のものは、汎用旅行CRSとでもいえるぐらい強力で、自社便のフライトだけでなく、他社便のフライト情報や、ホテルやレンタカーの情報、各種イベントなどの情報をも提供し、さらにそれらの予約までできます。たとえば、アメリカン航空に電話をしてフライトの予約を入れてもらうついでに、滞在場所でのホテルとレンタカーの予約もすることができるわけです。

航空会社のCRSが他社のフライトの予約までできるということは、CRSが相互にネットワークを組んでいるということになります。そしてさらに、ホテル会社やレンタカー会社のCRSへもネットワークされているわけです。

現在すでに、一般の人が使える航空会社系のCRSがいくつかあります。インターネットの雑誌の記事の題材として、今回は我が家で利用するCRSの1つであるEasysabre（イージーセーバー）を紹介します。Easysabreは、前述したアメリカン航空系のセーバーの、一般人向けのものです。Sabreそのままではコマンド入力などのユーザーインターフェイスが難しいので、その部分を素人向きに変更したものです。Easysabreはいくつかの

パソコン通信からアクセスできますが、今回はCompuServeからEasysabreへアクセスする方法を説明します。インターネットが利用できない人は、ニフティサーブのCompuServe接続サービスを利用することで、Easysabreへアクセスできます。

Easysabreはもちろん予約ができるシステムですが、今回の記事ではその実行例は示しません。また別の機会に譲りたいと思います。とりあえず覚えておいて欲しいことは、行く予定のない旅行の予約は絶対試みない、ということです。CRSシステム、航空会社、ホテル、レンタカー会社に多大な迷惑がかかりますし、本当に行きたいと思って予約している人の予約状況にも影響がありますので。



A. インターネットへからCompuServeへのログイン

```
% telnet compuserve.com ①
Trying...
Connected to compuserve.com.
Escape character is '^]'.

Connected to CompuServe

Host Name: CISAGREE ②

Enter choice (300, 2400, 9600, OFF): 2400 ③

User ID: 1nnnnn,mmmm ④
Password: ⑤

CompuServe Information Service
00:32 EDT Tuesday 05-Jul-94

Last access: 04:03 07-Apr-94

Copyright (c) 1994
CompuServe Incorporated
All Rights Reserved
```

```
GO RULES for a new standard pricing rule
GO RATES for current information
```

```
What's New This Week(FREE) NEW-1
```

- 1 Subscribe to CompuServeCD
- 2 Get Wimbledon Coverage Online
- 3 U.S. Customer Service Holiday Hours
- 4 Download WinCIM 1.3
- 5 14.4 in Toronto, New Canada Nodes
- 6 Join Home Forum for Spring/Summer Repairs
- 7 New Graphics Vendor Forum, Visual Index
- 8 Fussballweltmeisterschaft '94 Online
- 9 Join CB Club and Save
- 10 Visit CompuServe at PC Expo
- 11 Meet New Mall Merchants

B. EAASY SABRE へのログイン

```
Enter choice or <CR> for more !go sabre ①

EAASY SABRE

1 Introduction
2 How to Use
3 What is EAASY SABRE (CIM)
4 Bargain Finder
5 Talk to EAASY SABRE
6 Talk to Travelers Access

7 Access EAASY SABRE
8 Access EAASY SABRE (CIM)
** HELP DESK 800-331-2690
(Outside the US) 817-355-2936 **

Enter choice !7 ②

EAASY SABRE EZS-4

One moment please...
```

① TELNET コマンドでCompuServeに接続する。CompuServeに接続するために指定するドメイン名は"compuserve.com"

② "Host Name:"というプロンプトが返される。この例ではここで"CISAGREE"と入力している。ここで"CIS"とだけ入力すると、詳しい情報等が表示される。"CIS"は"CompuServe Information Service"の略。

③ CompuServeからの送信速度を入力する。CompuServe側が空いていても、経由するインターネットが混んでいたら、結局、遅くなってしまいますので、CompuServe側での課金を考えて、私は常に2400を選択している。

④ "User ID:"に対しては、自分のユーザー識別番号を入力する。

⑤ "Password:"に対しては、自分のパスワードを入力する。

① CompuServeでEaasy Sabreへ直に行くには、"go sabre"と入力する。"go flight"とすると、1つ上の階層に行ける。その階層からは、WORLDSPAN TravelshopperというCRSも選択できる。また、"go travel"とすると、さらにその1つ上の階層に行ける。そこが旅行関係の一番上の階層で、さらに多くの予約システム、情報提供サービスが並んでいる。

初めての方は、EAASY SABREのメニュー中の"1 Introduction"と"2 How to Use"をまず読んでほしい。

② "7 Access EAASY SABRE"を選択する。すると、20行程度の前置きの情報が表示される。最後に、">"というプロンプトが表示される。もし表示されないとしたら、メンテナンス中とか、回線が満杯などの理由で、Eaasy Sabreに接続できなかったとき。メッセージをよく読んで対処してほしい。

③ 初めての方は、ただ単にリターンキーを押す(空行とする)。すると、初心者用の情報が表示される。ここでは、Eaasy Sabreへのサインオン(ログオン、あるいはログイン)をしている。その中の"j3pXXXX"と"YYYYYYYY"は、それぞれEaasy Sabreに対するユーザー識別番号とパスワードを意味している。それらの入力が正しければ、Eaasy Sabreの"Main Menu"が表示される。

④ ユーザー識別番号が表示される。先頭の"AAvantage Number"とは、アメリカン航空のFFP(Frequent Flyer Program)のこと。FFPは、搭乗距離に応じて無料航空券などをくれるサービスのことで、日本でも結構浸透してきている。Eaasy Sabreのユーザー識別番号は、アメリカン航空のFFPであるAAvantageの番号を使っている。

さて、Eaasy SabreのMain Menuに戻ろう。初めてEaasy Sabreにアクセスした人はまだ識別番号がないので、AAvantage Numberは表示されない。もちろん、情報検索だけしか使わないのなら、識別番号がなくてもよいが、将来的にEaasy Sabreで予約をする可能性があるなら、"5 Application to use EAASY SABRE"を選択して、AAvantageの番号を発行してもらおう。

実際の予約や情報検索は、"2 Travel Reservations and Information"で行う。また、"8 Official Recreation Guide"とは、旅行先の情報を検索できるサービスで、これを利用するには年会費を払う必要がある。大変興味深いサービスだが、詳しいことは別の機会に譲りたい。

- 8 View MORE flights
- 9 CHANGE flight request
- 10 View FIRST flight display
- 11 View all FARES
- 12 Translate CODES
- 13 View LOWest one-way fares

** Quick Tip: Select your flight, choose Bargain Finder when prompted and EASYSABRE will select the class of service for the lowest available fare.

D ホテルの予約

> /hot,nyc,jul14,jul19,2,chy ①

Hotel availability in NEW YORK CITY, NY
 Check in: 14JUL THURSDAY Check out: 19JUL TUESDAY

Chain code	Name	Miles from NYC	Lowest rate
1 HY -	HY GRAND HYATT NY DOWNTOWN NY FAST Confirmation Hotel		\$230.00 962
2 HY -	PARK HYATT UN PLAZA NEW YORK NY FAST Confirmation Hotel		\$205.00 926

For details or reservations enter the line number, or

- 4 View MORE hotels
- 5 NEW hotel request
- 6 Repeat FIRST display
- > 1 ⑤
- 7 Translate CODES
- 8 View/Change PREFERENCES
- 9 Change DATES

Select one of the following available room rates at the HY GRAND HYATT NY

Rates quoted in USD

Room Type	Rate	Room Type	Rate
1 \$230.00 Standard - Deluxe	1 King Bed	2 \$230.00 Standard - Deluxe	2 Double Beds
3 \$245.00 Standard - Business		4 \$265.00 Standard - Regency Club	

- 11 View more HOTELS
- 12 NEW hotel request
- 13 Change PREFERENCES

「LIFE WITH INTERNET」では、読者のみなさんの暮らしのなかで、インターネットがどのように活かされているのかを教えていただきたいと思っています。インターネットのある暮らしを实践されている方は、その様子をできるだけ具体的に編集部までご連絡ください。これは！というレポートを送っていただいた方を誌面で紹介させていただきます。（編集部）

15時14分に到着することを意味している。そしてその次の行(すなわち4行目)で、シカゴ16時30分発のユナイテッド航空246便に乗り、ニューアーク空港に19時37分に着くことを表している。ちなみに、"4"での乗り換え地はサンフランシスコ空港(SFO)。

さらにこれら以外の組み合わせが見たいときは、後に続くメニューから"8 View MORE flights"を選択する。

次に見ているのがホテルの空室情報。

①前と同様にカンマで区切って考えると、単語が6つならんでいる。順に意味は、「ホテルの検索」、「場所はニューヨーク」、「チェックインは7月14日」、「チェックアウトは7月19日」、「泊まるのは2名」、「ハイアット系列のホテル希望」ということになる。

ここでも、場所の指定とホテル系列の指定に省略記号が使われている。また、希望ホテルの指定での"chy"は、Chain(チェーン、系列)はHYatt(ハイアット)という意味で、ほかに名前での指定、場所(空港に近いところ、あるいはダウタウンで、等)での指定などができる。もちろん、何の指定もせずすべてのホテルを表示させることもできる。

②に表示されるのが系列コード。ここでの場合、当然ながら"HY"しかない。

③はホテルの名前。それぞれ名前の次の行には場所が表示されます。

④は、そのホテルで今現在予約可能な部屋のうち、最も安価なもの値段を示している。

では"1"と印されたホテルの情報を読んでみよう。系列はもちろんハイアット系列です。ホテルの名前はグランドハイアット・ニューヨークで、このホテルで現在予約可能な最も安い部屋は、230ドルの部屋ということがわかる。

⑤ホテル情報に付けられていた番号を指定すると、予約可能な部屋の一覧が表示される。ここでは、"1"のグランドハイアットを選択したところ、4種類の部屋が表示されている。

⑥のところが客室料金。

⑦が部屋のタイプ。"Deluxe"の部屋は、キングサイズのベッドが1つの部屋と、ダブルサイズのベッドが2つの部屋があり、どちらも230ドルということが分かる。さらには、"Business"というタイプが245ドル、"Regency Club"というタイプが265ドルで予約可能ということも分かる。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp